

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する城島小学校プラン

《学校の教育目標》自ら学ぶ意欲に満ち、豊かな心と実践力に富む、心身共に健康な城島の子どもを育成する
《本年度 学校の重点目標》 自分から言葉で伝え、行動し、つながり合う子ども

基礎的・基本的な知識や技能を活用して探求的に課題解決を計ることができる。
【つくる力】

自分から言葉で伝え、認め合い、支え合い、高め合う人間関係を築くことができる。
【つなぐ力】

自分で目標を立て、粘り強く最後まで工夫・努力していくことができる。
【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②個別の見取りと効果的・徹底的なやり直しの工夫(国語・算数毎時間)。
【成果指標】職員による学校評価(「子どもたちが基礎的基本的な学習内容を修得するためにやり直しの工夫を回っていますか」3.3以上:4段階評定尺度)
児童による授業評価(「授業はよくわかりますか」3.3以上:4段階評定尺度)
- ③Chromebookを活用して交流活動を活発にする(週2回以上)。
- ④教員の指導力向上の研修の実施をする(年1回)と共に、思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。



笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②削減できる行事や仕事がないか振り返る場を設定する(運営委員会で学期1回)。
【成果指標】「学校全体で業務改善に取り組もうとしている3.3以上:4段階評定尺度」



協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン城島小バージョン」の徹底のために、全職員で共通理解し、初期対応と継続対応を行う(毎日)。アンケートでいじめを把握し、解決までに素速く、粘り強く取り組む(月1回)。
【成果指標】「いじめ早期発見、早期対応、解決100%。不登校0。」
- ②代表委員会、保健委員会が主体となった「安全なすごし方」「けがの人数、発生場所、原因」を伝える活動や保護者、地域と連携した引き渡し訓練の実施(年1回)。安全に配慮した班登校の実施(毎日)。
- ③縦割り班遊び、集会や運動会での縦割り班活動を行い、学習中に仲間と共にふり返ったり、帰りの会等で自分や友達のよさをふり返ったりする活動を行う。(学期1回)。

【体力向上】

- ①体育の時間に準備運動等で遊具を生かした運動を行う(体育3時間に1回)。
- ②ドッジボールラリー(「1校1取組」運動)
・体力アップシート活用率:目標80%
・スポコン広場登録学級数:目標全学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①計画委員会によるあいさつ運動(1週間)。あいさつ大使によるあいさつ奨励(年間3回)。
- ②「ひざついてそうじ」を合い言葉に掃除後のふり返りでよさを出し合う(毎日)。
- ③家庭学習の手引き活用・自学自習の仕方の指導(年度初め)家庭学習チェック週間(学期1回)を行う。

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】人権感覚を育む教育活動を重視し、言葉や態度・行動に表すことができることをねらった計画的なソーシャルスキルトレーニングを実施する。
- 【特別支援教育】特別な支援を要する児童の特性の把握と計画的、組織的な指導を行う。
- 【キャリア教育】キャリアパスポートを活用し、将来を見据え、目標を立て、工夫・努力する場を設定する。